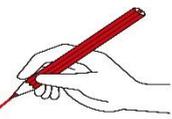


Move Mountains

5年生通信

6月14日39号



○語彙力～学習発表会～

多くのご参観ありがとうございました！

子どもたちは思ったよりも緊張していたようです。笑

学習発表会では、国語をやった。かんじとか、授業とかを見られるのって、以外（ここは意外ですね）ときんちょうするんだよと実感した…。漢字を特にがんばったのに、「はらい」を忘れてすぐ座ってしまった…。

今日は、さんかん日でした。お母さんが見えていながらじゅぎょうは、いつものルーティーンじゃないけど、お母さんがいると発表するのにきんちょうしました。

シャトルランが以外（これも意外）と走れました。学習発表会がとてもつかれました。

漢字が56秒になった！みんなは、シャイで発表をそんなにしなかった。けど、いっぱい嬉しかった。

5時間目の国語で、お母さんが来てめっちゃきんちょうしたけど、もうなれていつものようにじゅぎょうがうけたからよかったです。

いい緊張感で授業を受けられたようです。いつでも参観は歓迎しております！

さて、授業は「語彙力」をテーマに行いました。

『青』や『右』を「辞書を作る人になったつもりで」説明する

→①言葉の意味を説明できる

『ヤバイ』や『むかつく』を「他の言葉で表現する」

→②言葉を置き換えることができる

二つのアクティビティを通して、語彙力アップの方法を紹介しました。

最後に紹介したのが『ことバト』です。

<https://www.shogakukan.co.jp/pr/reikai/kotobato/>

辞書を使った語彙力バトルです。



読書も語彙力向上には有効な手立てです。しかし、コミュニケーションが生まれないことが一つのデメリットです。

また、読書**だけ**では読解力は向上しないことが明らかになっています。というのは、読書量だけ増えても、**言葉の意味を正しく理解**していなければ力はつきにくいということです。

漢字習得についても、どのようなロジック、思想で組み立てているかご紹介しました。

1ページに掲載した振り返りのように『以外』と『意外』では全く意味が異なります。「デジタルの時代だから手書きの漢字は必要ない」というのは一理ありますが、正しく言葉運用するためにはある程度の習得は不可欠です。

国としても、「ただ単に漢字を書けるかどうか」の力は測らないように方針を転換しています。『大学入試共通テスト』では、以下のような問題が例示されています。

「アン直な発想」の「アン」と同じ意味で「アン」が使われている熟語を選べ

①アンイ ②アンタイ ③アンシン ④アンカ

出典：東大生と学ぶ語彙力

いかがでしょうか。

解き方は次のページへ。

解くための手順として「アン直」がまず語彙としてなければお手上げです。

「安直」と書き、「深く考えていない」といったニュアンスでしょうか。

次に、選択肢の語彙も知らなければなりません。

①安易②安泰③安心④安価

すべて安が入りますね。この漢字からは、『やすい』が一番連想されるでしょうか。

「やすい」を表現する言葉は、ここでは④安価しかありません。

しかし、これは「安直」とは意味が異なります。

正解は①安易です。

ただ漢字を書けたらいいわけではなく、**漢字を使いこなす**段階まで漢字習得のレベルを上げる必要があるということです。

さて、ここまでの登校日数48日。ひと段落。

一律一斉の宿題はありません。もちろん、自分にとって必要な学習はしてくださいね。

普段できない体験をたくさんしてください。

直接伝えていただいたり、メールをいただいたりして授業参観へのご感想いただいております。ありがとうございます。

ここまで頑張った子どもたちへの励ましのメッセージもお待ちしております！

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

